



研修 DVD 無料貸出しのご案内

過去に開催された「共同機構研修会」の映像 DVD を貸し出しています。個人のスキルアップや、園内・職場研修にぜひご活用ください！

貸出ルール

✓ 対象者

研修参加施設の職員
(**個人** でも **職場単位** でも可)

✓ 貸出本数

1 回につき **5 本** まで

✓ 貸出期間

1 カ月 (状況により延長相談可)

✓ 対象作品

過去 5 年分の研修映像
(講師の許可が得られたもの)

💡 スムーズに借りるためのコツ

まずはホームページで最新の「DVD 一覧」を確認し、在庫状況をお電話で確認していただくのが一番確実です。「どんな研修があるか知りたい」という方も、お気軽に一覧を覗いてみてください！

🔍 お申込みの 4 ステップ

1

サイトへアクセス

「こどもみらい館」HP の「研究・研修」メニューを開く

2

貸出ページを選択

「DVD 貸出」ボタンをクリック



3

内容をチェック

「DVD 一覧」から、借りたい研修内容を選ぶ

4

お申込み

借りたい DVD が決まったら、
下記へお電話ください



申し込み・お問い合わせ

TEL: 254-5001

令和8年度 第1回共同機構研修会（動画配信）

子どもの主体としての心を育てるとは ～心を育てる鍵は「養護の働き」にある

講師：鯨岡 峻さん 京都大学名誉教授



令和7年度第10回共同機構研修をより多くの皆様に受講していただけるよう、今回、動画を配信しました。講演の内容は、・子どもの主体としての心を育てるために必要なお主体概念について、・こどもの「心の動き」を感じ取るために必要な大人の二つの働きについて、・子どもの正負の心的経験とその纏まりとしての「自己態勢」の成り立ちについて、・保育者には「心の動き」に寄り添う姿勢をもってほしいことなどについてでした。配信期間中183人の方に受講していただき、様々な御意見、感想をいただきましたので、一部御紹介いたします。

子どもの正の部分だけを認めるのではなく、負の部分にも目を向け、受け止めていきたいと思いました。

「養護の働き」を一人ひとりに向けていけるよう意識し、保育をしたいと思います。ありがとうございます。

自己肯定感は、自己で持てるものではなく他者から認めてもらうことで、持てるものというお話が印象的でした。保育の中でもそのことを忘れず、関わっていきたいです。

子どもの主体について、自分は今まで違った考え方をしていた、今回の講義で新たな気づきがありました。

私は中高の教師をしてきたのですが、“子どもの主体としての心を育てる”という考えを持った保育者がいて、その保育者のもと、養護の働きを受けてきた生徒も数多くいたのかと思うと、中高での生徒への接し方も変わったかと考えます。

中高において問題を抱えた生徒たちがどのような幼児期を過ごしていたのかを知ることは、生徒指導上プラスになる大切なことだと思います。

幼保小連携だけではなく、幼保中、幼保高連携ができればよいことだと思います。



鯨岡先生のDVD 貸出中です！

令和8年度 第2回共同機構研修会（リモート研修）



遊びの中の育ちと学びをみとり支える、保育者の専門性

講師：北野 幸子さん 神戸大学大学院教授

令和8年6月15日（月）午後3時～午後5時 ZOOMを用いたリモート研修を実施し、50人の方にご受講いただきました。受講者の皆様から寄せられた感想の一部を紹介いたします。

遊びの中で育ちや学びを見取る専門職として、もう一度、保育を見直し、幼児教育の重要性を発信していかなければいけないと感じました。

このような機会をくださり、ありがとうございました。

北野先生のお話により、保育への意欲がまた湧いてきました。園内の職場研修にも活かしていきたいです。

パワフルでのご示唆に富んだ研修でした。

先生のお言葉を通して、日々奮闘する現場の先生たちの姿が思い起こされ、愛おしく感じました。

共感することばかりで、幼児保育・教育の大切さを改めて感じる事ができました。

子どもの気づきを受け止め、子どものしたいこと・楽しみたいことを支えられる保育者になりたい。

幼保小接続講座（6/1 実施）

もっと主体的に自己を発揮する子どもたちの姿が見たい！ ～それって、子どもが「やってみたい」と思っていますか～

幼保小接続講座は、京都市総合教育センターが主催して行う研修です。こどもみらい館が連携することで、保育園（所）・私立幼稚園等と公立学校・幼稚園がともに学び合う研修となっています。今回の研修では、幼稚園の実践報告とグループ協議を通して、子どもの「やってみたい」が広がる環境について考えました。保育園（所）・幼稚園・こども園からは、70名を超える参加がありました。（こどもみらい館を通じての参加者は34名）

●京都市立楊梅幼稚園の実践報告より

～楊梅幼稚園が属するブロックでは幼保小共に

子どもが夢中になって遊んだり、学んだりする姿や子どもの「やってみたい」を叶える保育や授業を目指している～

実践報告テーマ：子どもが夢中になって遊ぶ姿から「やってみたい」が広がる環境について考える

「やってみたい」はどこから生まれる？

- ・人、もの、出来事との関わりの中で広がっていく。
- ・安心できる環境の中で「もう1回やってみたい」が生まれる

「やってみたい」が広がる環境の3つの視点

- ・子どもの興味や欲求に応じた環境
- ・発達に応じた環境・新たな発見や出会いにつながる環境

◆幼稚園の事例について小学校の先生と対話し、 子どもが夢中になっている姿をどうとらえ、環境につなげてきたか

事例1 蝶の飼育「さなぎポケット」

子どもが夢中になっている姿

さなぎが落ちた、どうしよう→さなぎを救いたい

環境・・・子どもの姿に応じ、環境を再構成

図鑑や iPad で調べられる環境・さなぎポケットをつくれる環境・学級で共有する場をつくる

小学校との対話

小学校：小学校では「子どもの学びたいこと」と「教師の学ばせたいこと」のずれが生じることがある

幼稚園：幼稚園でも子どもの思いと教師の願いがずれることがある

双方に大切にしていること

- ◆教師があらかじめ決めたとおりに進めるのではなく子どもと共に悩みながら、保育や授業をつくること

事例2 色水遊び「ピンクをつくりたい」

子どもが夢中になっている姿

白色はないけどピンクをつくりたい、どうしよう→白色はなくてもピンクは作れるという発見

環境・・・考えなくなる余白のある環境

敢えて白色は出さない、子どもが考える余白がある環境

小学校との対話

小学校：めあてを自分事として取り組めるよう工夫している

幼稚園：その子なりの「こうしたい」に寄り添いながら環境を考えている

双方に大切にしていること

- ◆子どもが「やってみたい」を自分事として取り組めるようにすること

子どもの「やってみたい」が広がる環境とは

幼保小共に「子どもが自分事として学びや遊びに向かうこと」を大切にしている。だからこそ、子どもが安心して「やってみたい」を広げていける環境を子どもと共にどう創っていくのが重要

アンケートより



各園によって活動方法が違い、保育のねらいによって準備物が違うことなど学びになった。日々の保育の中で子どもの気持ちを取り入れる時間が少なかったため、余裕をもって保育していきたい。



園で行っていることが子どもの自信となり、小学校でもものびのびと活動できることを知り、色々な経験が子どもの財産になっていることを知った。



子どもたちのワクワクやドキドキ、不思議、発見に寄り添い、保育できるよう余裕をもって実践していきたい。また、幼保小連携をさらに深めていけるよう自身も学びや研修を意欲的に取り組みたい。



小学校の先生と話して、子どもたちのもっとやりたい思いが途切れないように環境をつくっていることなど、小学校で大事にされていることを知ることができた。保幼で大事にしてきたことを大事に教育されていることも聞き、安心して小学校に送り出せます。今後も子どもの主体性を第一に考え、保育をしていきたい。



子どもの気付きを大切に保育をしてきましたが、その経験を小学校につなげる意識はあまりなかったため、今回の学びをもとに、今後は連携の内容も意識していきたいと思います。



「見て、学び、実践に生かす」フィールド研修



皆さまからの「療育施設について深く知りたい」「実際の現場を見学したい」というご要望にお応えし、今年度は計4か所のフィールド研修を企画いたしました。3か所の療育施設にぐわえ、教育の歴史を学ぶ「学校歴史博物館」にて実施いたします。

9/11 (金)

空の鳥幼稚園

10:00 - 11:30

10/26 (月)

児童発達支援センター
こぐま園

10:00 - 11:30

11/6 (金)

児童発達支援センター
ポッポ

10:00 - 11:30

※学校歴史博物館の詳細は別途ご案内いたします。



3つの療育施設 申込受付のご案内

🔍 重要スケジュール

案内送付 7月24日(金)

申込開始 7月31日(金)正午〜

🔍 申込ステップ

1 HPからオンライン申込をする

2 申込み用紙をメールで事務局へ送付する

💡 積極的なご参加をお待ちしております！



5歳児健診に関する動画配信時期の変更（前倒し）

昨年度末のアンケート結果を受け、より早期の情報提供を優先しました。
子ども家庭支援課の研修を、当初の予定より時期を早めて開催いたします。

急ピッチで準備中！

【5歳児健診に関する動画研修】

予定：10月5日 **8月17日(月)**

からの配信開始を目指しています



子どもを育む喜びを感じ、
親も育ち学べる取組を進めます。

【京都市はぐくみ憲章】より



この印刷物が
不要になれば
「雑がみ」として
古紙回収等へ！



発行日 令和8年6月29日
発行者 京都市子育て支援総合センターこどもみらい館
〒604-0883 中京区間之町通竹屋町下る楠町601-1
Tel : (075)254-5001 Fax : (075)212-9909
URL : <https://www.kodomomirai.city.kyoto.lg.jp/>